

学会彙報

(一九九四年十一月)

一九九五年五月末

◇一九九四(平成六)年度は、大学院修士課程終了者二二名、文学部卒業生一六四名であった。提出論文の題名は次の通りである。

一、大学院修士論文

二、文学部卒業論文

※リボジトリ非公開

※リポジトリ非公開

※リポジトリ非公開

※リボジトリ非公開

◇一九九五（平成七）年度仏教学関係講

義題目

一、文学部仏教学科

講義

仏教基礎学	A	教授	鍵主良敬
仏教基礎学	B	教授	片野道雄
仏教学概論	1	教授	小川一乘

仏教学概論 2 教授 福島光哉

インド仏教教理史 教授 片野道雄

中国仏教教理史 教授 三桐慈海

原始仏教の源流 教授 長崎法潤

インド仏教史 助教授 宮下晴輝

往生要集 専任講師 R・F・ローズ

瑜伽唯識思想の研究

教授 舟橋尚哉

チベットの文化と社会について

助教授 白館戒雲

中国仏教思想の形成

教授 木村宣彰

唯心と唯識の研究

教授 鍵主良敬

日本天台思想史

講師 白土わか

菩薩の諸相(集中)

講師 杉本卓洲

講読

仏教学基礎講読(維摩経) A

助教授 一色順心

仏教学基礎講読(維摩経) B

専任講師 織田顕祐

仏教学基礎講読(維摩経) C

専任講師 山野俊郎

インド学基礎講読

助教授 兵藤一夫

初期パーリ語経典の研究

助教授 小谷信千代

サンスクリット文献の講読

助教授 宮下晴輝

サキヤ・レクシエの講読

助教授 白館戒雲

妙法蓮華経

教授 福島光哉

大般涅槃経

教授 古田和弘

華厳経

助教授 一色順心

天台四教儀

専任講師 山野俊郎

十地経論

専任講師 織田顕祐

バガヴァッド・ギーター

講師 小林圓照

欧文仏典講読

専任講師 山野俊郎

欧文仏典講読

専任講師 R・F・ローズ

演習

原始仏教における説話と伝承の世界

教授 吉元信行

プラサンナパターの解説研究

教授 小川一乗

華厳五教章

教授 片野道雄

法華経玄論

教授 鍵主良敬

法華文句

教授 三桐慈海

法華経

教授 福島光哉

法華経

教授 古田和弘

法華経

教授 木村宣彰

インド学研究の方法

教授 長崎法潤

二、大学院仏教学専攻

基礎科目

講義

中国仏教の展開

教授 木村宣彰

仏教の基本概念的再確認

助教授 小谷信千代

文献研究

サンスクリット基礎講読

助教授 兵藤一夫

仏教漢文文献読解

助教授 一色順心

文献研究 教授 鍵主良敬

チベット語仏教文献の解説研究 教授 小川一乗

趙宋天台の研究 教授 福島光哉

演習

修士課程

仏教文献の解説研究

教授 小川一乗

仏教論理学とジャイナ教論理学との

比較研究 教授 長崎法潤

摩訶止観 教授 福島光哉

成唯識論 教授 鍵主良敬

博士課程

仏教文献の解説研究

教授 小川一乗

直接知覚の展開 教授 長崎法潤

法華思想の研究 教授 福島光哉

成唯識論 教授 鍵主良敬

関連科目(抜粋)

日本天台の論義 講師 白土わか

菩薩の諸相(集中)

講師 杉本卓洲

大乘大義章 教授 古田和弘

パリリ仏教教義集成サーラサンガ

ハの研究 教授 吉元信行

インド思想史入門(集中)

講師 前田專学

◇史跡踏査

十一月二十八日(月)午前九時三十分～午後五時

学生と教員を合わせて五〇名ほどが参加。バスで黄檗山万福寺、宇治の平等院、大津の三井寺・石山寺などを訪れた。

◇研究発表例会

十二月一日(木)午後四時十分

於 一四一〇教室

「智顛の六根清浄について」

博士後期課程三回生 橋本秀章氏

「仏道ということ」

教授 三桐慈海氏

◇仏教学会公開講演会

十二月九日(金)午後四時十分

於 多目的ホール

「一切智研究のめざすもの」

筑波大学教授 川崎信定氏

講演終了後、鞍馬口瓢亭において講

師を囲んで懇親会をもった。

◇卒業論文梗概発表会

一月十二日(木)午後四時十分

於 多目的ホール

発表会終了後、記念写真を撮り、その後学内食堂にて送別懇談会をもった。

◇仏教学会新入会員歓迎会

五月十五日(月)

第一部 記念講演会(十二時五十分より一三一二教室にて)

「入滅と再生―仏教の原理とその世俗化について―」

仏教学会会長 小川一乗教授

第二部 懇親会(午後五時四十分より学内食堂にて)

多数の教員・学生の参加をえて、和やかな雰囲気の中で相互の親睦を深めることができた。

◇人事(四月一日付)

○新任

特別研修員 加藤不二夫氏